

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名	保育所等食育啓発事業	担当課	児童福祉課	
総合計画	政策	健やかに暮らせるまち	計画期間	平成13年度～
	施策	健康づくりの推進	種別	任意の事務
	基本事業	食育の推進	市民協働	事業協力
予算科目コード	01-030201-09 単独	根拠法令・条例等	守谷市食育推進計画	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
<p>核家族化、共働き世帯の増加、食生活の多様化に伴い、孤食や偏食等、児童の食生活の乱れが高まる中、「食」の大切さを伝えるため、保育所において平成13年度から食育推進を開始した。平成17年度に食育基本法が施行され、県では平成19年3月に茨城県食育推進計画を策定した。市においても平成24年度に「守谷市食育推進計画（計画期間：平成25年度から4箇年）」を、平成28年度に「第二次食育推進計画（平成29年度から5箇年）」を策定し、市全体で食育を推進している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・親子クッキング及び食に関する講話 全5回 ・食への関心を高める教室及び食の相談（子育て支援センター保護者対象）全4回 ・栄養教室（保育所年長児対象）全10回 ・離乳食教室（保育所年長児対象）全3回 <p>※前年度の比較：増額分は、非常勤一般職員（栄養士）の勤務日数の増によるもの。</p>
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
<p>市内未就学児及びその保護者に対して、料理教室や食に関する講話等、様々な経験機会を提供することで、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる力を習得してもらい、児童の心身共に健全な育成につなげる。</p>	
（参考）基本事業の目指す姿	
<p>市民が、食に関する正しい知識を身に付け、食事や栄養に気をつけることができるようにする。</p>	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点、現状分析、課題設定）	具体的内容とスケジュール
<ul style="list-style-type: none"> ・親子クッキング、食育講座ともに参加者は多い傾向にある。特に親子クッキングは、毎回応募超過であり、父親の参加も多いことから未就学児と保護者に対する食育啓発ができていない。 ・アンケートの結果からは、講座内容が役に立つとの回答が多く、さらには、多くの食育事業を希望していることがわかった。 ・担当人員不足のため、開催回数の増加が難しい。 	<p>今年度の内容 <親子クッキング></p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜をたくさん食べよう(令和元年7月実施) ・公立保育所親子クッキング(令和元年9月実施) ・パパと一緒にクッキング(令和元年10月実施) ・クリスマスクッキング(令和元年12月実施予定) ・野菜をたくさん食べよう(令和2年2月実施予定) <p>今後のスケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年1月
改善内容（課題解決に向けた解決策）	<p>ボランティアや食生活改善推進委員等への交渉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年4月 <p>ボランティアや食生活改善推進委員等への具体的な事業概要説明 日程調整と打ち合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年7月以降 <p>講座実施</p>
次年度のコストの方向性（→その理由）	
<input type="checkbox"/> 増加 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 削減	<p>当面は外部委託ではなく、ボランティアを活用した改善を検討するため、コストは維持する。</p>

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
<p>・親子クッキング、食育講座ともに参加者は多い傾向にある。特に親子クッキングは、父親の参加も多いことから、母親だけでなく家庭全体で食育への興味・関心が高まっている傾向にあり、未就学児と保護者に対する食育啓発ができています。</p> <p>・アンケートの結果からは、講座内容が役に立つとの回答が多かった。また、今後さらに多くの食育事業を希望していることがわかった。</p>	<p>親子クッキング</p> <ul style="list-style-type: none"> ・野菜をたくさん食べよう（令和元年7月、令和2年2月） ・公立保育所親子クッキング（令和元年9月） ・クリスマスクッキング（令和元年12月） ほか <p>食育講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食に関する講話（全5回） ・栄養教室（全10回）ほか <p>保護者に健全な食生活の実践力を習得してもらうことで、児童の健全育成につなげている。</p>

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
教室に参加した人数（人）	306.00	315.00	268.00	300.00	315.00
アンケート調査で食に関心を持ち食生活を見直すという回答をした割合（%）	85.70	96.10	88.40	90.00	95.00
成果の動向（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 向上 <input checked="" type="checkbox"/> 横ばい <input type="checkbox"/> 低下	<p>参加者数の減、アンケートで事業内容が役に立つと回答した参加者数は平成30年度に比べ低下している。しかし、親子クッキング等の事業内容によっては申込数も多く、抽選による参加となるものもある。今後も、参加者の興味を引く事業内容の改革に努め、成果の向上を図る。</p>				
今後の事業の方向性（→その理由）					
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 維持	<input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止・終了	<p>・親子クッキングについては、年間5回の実施を見直し、回数や参加組数を調整して、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めつつ、食育実習の要望に応えていく。</p> <p>・その他食育講座等についても、レシピの配信等、新たな取組を実施するなど改善し、親子で楽しく健全な食生活を実践する力を習得してもらうことに努める。</p>			

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	1,166	1,196	1,381	907	907
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	31	40	31	46	46
	一般財源	1,135	1,156	1,350	861	861
正職員人工数（時間数）		127.00	203.00	200.00	0.00	0.00
正職員人件費		521	848	821	0	0
トータルコスト		1,687	2,044	2,202	907	907